

ご協力ありがとうございました

田んぼプロジェクト



「田んぼプロジェクト」も大詰め
 エクトの九月二十
 にこの九月二十
 九日(木)、秋晴
 れの中、五年一
 (小尾功先生)の
 子どもたちがい
 牛山斐雄さん(粟
 沢)の指導の下、
 地域のボランティア
 の面々の親身な
 手伝いもあって、
 順調にはさか
 できました(左下
 に写真掲載)。
 十月には脱穀
 摺りの作業も終
 て、精米された
 米は、プロジェクト
 にご協力いた
 いた地域の方々
 もプレゼントされ
 ました。子ども
 ちと地域の協働
 結晶を感謝して
 いただきました。
 トにご協力いた
 きました皆様、お
 疲れ様でした。



ポニーと触れ合って

ポニーふれあい体験を楽しみました。ニンジン
のエサやり体験・乗馬体験・触れ合い体験と、子
どもたちは、お馬さんを見たり触れたりして「か
わいい」「ドキドキするけど、お馬さんに触るこ
とができた！ニンジン食べたよ！」「お馬さんに
乗れてうれしい！」など口にしていました。貴重な
体験ができて、最高の日になりました♪



小泉保育園

中学生×園児のふれあい

東部中学校地区生徒会が「コロナ禍でもできる活動を」、をテーマに同校区内五つの保育園にマリーゴールドをプレゼント。子どもたちに、見て触れて、楽しんでいただきました。写真は小泉保育園の子どもたちから、お兄さんお姉さんへの感謝状です。

(右上記事も併せて小泉保育園提供)

東部中学校のみぎさんへ
「マリーゴールドのお花、飾ったよ！ありがとう」～小泉保育園～

4歳児 ひまわり組
2歳児 もも組
0.1歳児 うさぎ
3歳児 すみれ組
5歳児の延年さんは力持ち、みんなでプランターを運んでクラスの前に届けました！

小林校長先生とCSSの懇談会

十一月三十日(水)玉川小学校校長室におきまして、関係者の出席のもと(出席者別記)次年度の活動に向けての懇談会が開かれました。具体的には①百五十年記念事業、②学校が地域に期待する事柄、③地域が学校に期待する事柄、についてごつくばらんに意見の交換がありました。次年度における課題が見えてきた中で、学校と地域がどのように連携、あるいは協働していくことができるのか、

アフターコロナを見据えての共通の課題の洗い出しに有意義な時間を持てたのではないのでしょうか。

懇談会出席者

小林俊男校長先生、清水あかね教頭先生

伊藤孝玉川小CSSコーディネーター

永嶋陽子東部中CSSコーディネーター

牛山勝玉川地区民生児童委員会会長(会議時)

岩下治雄玉川地区運営協議会副会長

白川雄三玉川小クラブ活動支援員

長田秀子主任児童委員、伊藤良人主任児童委員



あいさつ運動秋季強化週間

※十月三日(月)～七日(金)
玉川小・東部中・小泉保育園・玉川保育園・玉川どんぐり保育園にて

おはようございます!!



※東海大諏訪校は中止、なお写真は東部中学校、玉川保育園の様子です



編集後記

秋の風物詩「運動会」。ここ数年、コロナ感染症拡大防止の取り組みから、保育園、小学校では時間をずらしたり、競技数を減らしたりと一度に大勢が集まらないような工夫を凝らして開催にこぎつけています。地域にとって以前のように応援できないのは残念ですが、だからこそ声を文字に変えて子どもたちの頑張りやエールを送りました。関係者の皆様、ご協力ありがとうございました。(なお、運動会当日には校庭に掲示していただきました)



小学校運動会 スローガンは“笑顔”

令和四年度玉川小学校運動会は、スローガン「笑顔」楽しく・安全に・あきらめない」のもと、二学年ずつ三ブロックに分けて実施いたしました。当日はどの学年も、かけっこ・短距離走と表現の二種目でしたが、子どもたちの種目にかける思いは強く、これまでの練習に精一杯取り組んできた成果を出し切ることができました。また、今年度の運動会は「子どもたちが創る」というテーマで、運動会実行委員会や係児童会を発足し、係の子どもたちが中心となって進め、やり遂げることができました。保護者の皆様や地域の皆様の多大なるご協力に感謝申し上げます。

五学年「玉川ソーラン」↓
夏休み明けから練習を重ねて来た「玉川ソーラン」。一人一人の気持ちをかけ算して、五年生としての作品を作り上げました。当日は「一発勝負！」整列から退場まで全員が全力100%・200%を出し切り、見てくれている方々に感動を届けられるような演技ができました。

三学年「玉川の風」←
各学級のリーダーが古「布」の動きにあわせて、全身を使ってまねをする表現でした。これまでの振り付けを覚えるダンスではない、子どもたちがその場で即興的に表現するダイナミックな動きを発表することができました。



二学年「おんべの花火を打ち上げろ！2022」
ダンスは「御柱祭り」をテーマに、法被を着用し、おんべを持って踊りました。みんなの動きに合わせてキラキラ輝くおんべがとつてもきれいでした。代表の子どもによる木遣りから始まり、最後には各クラスで考えたダンスにかける思いが書かれたのぼりも上がりました。



四学年「花笠音頭」→
夏花笠音頭は、学年で毎日集まり、練習を行ってきました。複雑な振り付けもあり、最初は戸惑っている子どもも多くみられましたが、練習を重ねていくうちに、どんどんきれいに踊れるようになっていきました。みんなでのことを作り上げる喜びや、自分自身の目標をもって取り組んで集中することを楽しくむこと、「これからも頑張ろう！」という意欲につながりました。



令和四年度
玉川小学校
大運動会

一学年「たまいれニンニン」
当日に向けて、子どもたちは「かっこいい姿を見せたい」と張りきって練習してきました。また、競技だけでなく、自分の順番や移動の素早さ、待っているときの姿勢なども意識して取り組みました。当日の玉入れではまさかの二回戦連続の引き分けとなり、今年の一学年はひと味違うぞ」と感じていただけです。



六年生
Spring of Life

失敗なんて気にするな！
六年生といえど「組体操」ですが、子どもたちと一緒に考え直し、「新しい形の組体操」を目指して学習を進めてきました。「ダンス」と「組体操」を合わせ、子どもたちの楽しんでいる様子や前線に出せるように考えました。楽しく笑顔でダンスや組体操に取り組み、小学校最後の運動会に悔いを残さず頑張ることができました。(記事写真提供：玉川小学校)

